

## ちょっとした宝石紹介

- 001 -

今回は蜂蜜色がステキなヘソナイト（ヘッソナイト）



紹介：hiros

## ヘソナイトに注目！

紹介：hiros



ヘソナイト（ヘッソナイト）は魅力的な宝石です。日本ではあまり馴染みのないヘソナイトをほんの少しですが紹介します。

ガーネットのなかでもグロッシュラーライト（グロッシュラー）の中でも黄色～橙色の種類をヘソナイトと呼びます。シナモン・ストーン、ヒヤシンスとも呼ばれています。ちょっと残念なのは、世界的に黄色～橙色～褐色をした宝石の人气が下がっていることです。お陰で今一つ国内流通に乗りにくくて、宝石店の店頭には滅多に出回りません。ただでさえガーネットは人気宝石に比べると高く売れないと日本では先入観がありますので、勉強していない店員さんでは説明も無理かもしれません。

左の写真はスリランカ産のヘソナイト分離結晶です



注) このスペースには初版のみサンプルのルースが付録されていました。増刷分からは付録の替わりにヘソナイトの分離結晶写真が入っています。

ヘソナイトの産地は世界中にあります。特にスリランカやアフリカ諸国は有名で比較的多く採れますが、カット質の良い物は実際には多く採れないみたいです。カット石は意外と高価で、各種資料で書かれているほど大量安価には流通しておりません。（念のため）



ガーネットは元々赤い宝石の代表です。1月の誕生石として国内外問わず知られていて、古代から人間に宝石として大切にされてきたみたいです。真実、友愛、貞節、忠実の象徴とのことです。

19世紀辺りからですが見かけが同じようなガーネットを詳しく調べると何種類かに分類できることが分かり現在では6種類（7種類とも言われます）に分類されています。さらに混乱させるのは固溶体（混合ではない）のためにまるで混血のガーネットが当たり前で端成分（純粋）な物はあり得ないくらいです。



ガーネットの種類としては  
 パイロープ 血のような赤  
 スペサルティン 明るいオレンジ色  
 アルマンディン 赤みが濃く黒っぽい  
 ウバロバイト 明るい緑色・結晶は小さい  
 グロッシュラー 色が豊富  
 アンドラダイト 普通は黒・変種で緑と黄色  
 パイロープとアルマンディンの中間成分で特に有名なのが「ロードライト」ですね。

写真で紹介：

今回はグロッシュラーから5色を紹介  
 （上から順に）  
 「ヘソナイト」  
 「リュウコ」（無色透明）  
 「ツァボライト」  
 「ラズベリー・ガーネット」  
 「ハイドログロッシュラー」  
 （OH含みます・南ア産）  
 これら以外にも存在します。



最近は高品質なガーネットが比較的手軽に手に入りますので、変な石を高額で買う前にもっと楽しんで欲しいです。

（終わり）